

全国の高速道路や橋梁等で使用されている支承は、長い年月により、腐食・亀裂等といった老朽化が進んでおり、支承交換工事が必要となります。支承取替工事は、既設支承の機能回復や耐震性能の向上を目的として行うものであります。橋梁の構造は様々で、周辺環境、施工条件に応じて最適な工法が選択されます。



取替工事ではジャッキアップが必須で、設置条件の殆どに制限がある事から、安全ナット付低床型油圧ジャッキを使用します。スライディングプレートを使用することにより、温度変化による橋梁の伸縮に追従して荷重をかけたまま水平移動をさせることも可能です



安全ナット付低床型油圧ジャッキ 簡易仕様表

型 式		JFNR100S3	JFNR150S3	JFNR200S3	JFNR300S5
揚 力	kN	1000	1500	2000	3000
ストローク	mm	30			50
最低高さ	mm	135	150	165	230
質 量	kg	28	46	63	135
球座可傾度	-	3° 以下			



- ・油圧力でジャッキを上げた後、外側の安全ナットで機械的保持が可能なジャッキとなります。
- ・橋梁工事のように『狭い隙間』で『長期間の保持』が必要な場合に最適のジャッキです。
- ・傾斜体に使用の際、上記の可傾度の範囲内にて対応可能です。
- ・球座無しのJFN型の仕様はカタログ御確認下さい